



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2025.3.12 No. 092

東日本大震災から14年



私たちが後世に伝えなければいけない！

2011年3月11日14時46分頃に発生した「東日本大震災」から14年の歳月が過ぎました。今もなお被災地では復興真ただ中でありま。私たちはこの未曾有の大震災を経験し、改めて「防災」「減災」の大切さを学び今日まで組合員ひとり一人が意識を高めてきました。東京支部も今年度、防災シンポジウムや現地学習行動など通じて「自助」「共助」「公助」を始め、現地に立ち、学習したことを後世に伝える重要性を学びました。災害はいつ何時、発生する場所すら選ばず、そのあらゆる災害から「いのち」を守らなければいけません。東京支部は防災4か条を順守し、「東日本大震災」の経験をもとに、まずは自分の身を守ることに専念する行動をしていきます。そして、次世代に災害から「いのち」を守り抜いた経験と知識を後世に語り継がなければなりません。



東京支部 防災4か条はいのちを守る！

- ・備える 災害は時と場所を選ばない。避難訓練がいのちを守る！
- ・逃げる いつでも、一人でも安全な場所にいち早く、その勇気は他のいのちも救う！
- ・戻らない 一度逃げたら戻らない・戻させない・その決断がいのちをつなぐ！
- ・語り継ぐ 子供達に、自然と共に在るすべての人に、災害から学んだ生き抜く知恵を語り継ぐいのちを守る！そして寄り添い共に生きる！